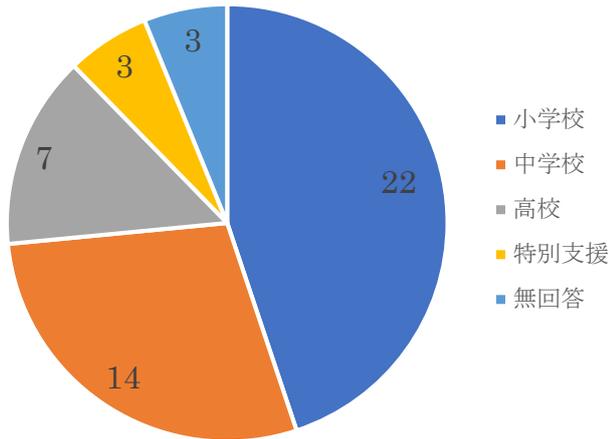


兵庫教育大学教員免許更新講習

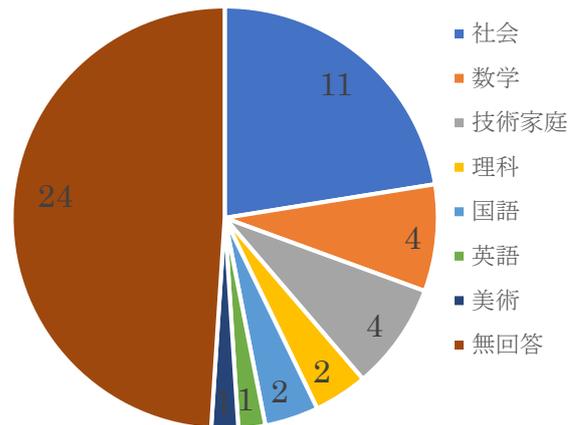
(8/10 知っておきたい！地図の作り方から使い方まで)

アンケート集計結果

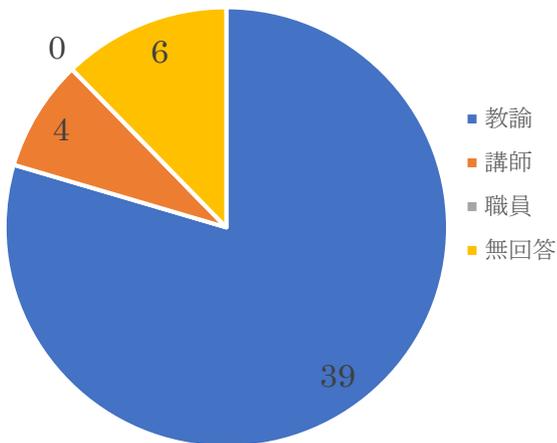
1. 学校種



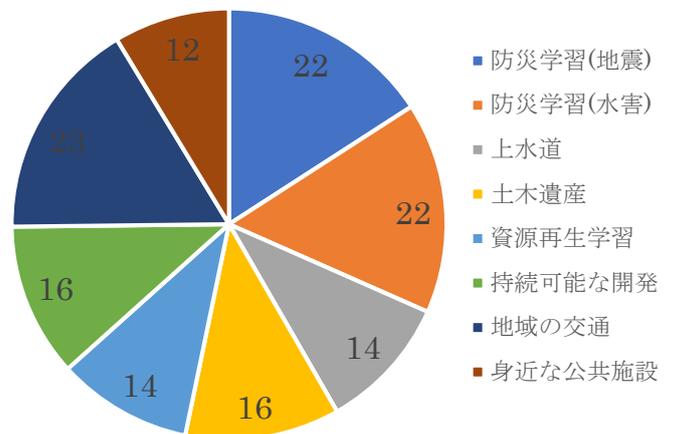
3. 担当科目



2. 職名



4. 受けてみたい対象



5. 講習内容で評価できること

- 防災マップの作り方 (6)
- 国土地理院の利用法・活用法 (5)
- 地図の作り方や見かた (3)
- 歩測, 実体視, 立体地図 (3)
- 実技があり良かった (2)
- 地図をどの様に授業にいかしていくか
- 国土地理院のデータを利用し, 地図の作成ができる
- 国土地理院の方の話が聞けたこと
- 新しい技術を学んだ
- すごくわかりやすかった, 地図に興味を持てた
- 地図に関する理科が深まった
- 具体的に学べたことが良かった
- 地図は奥が深いことがわかった
- 地図に対して新しい発見があった
- 授業で使える
- 専門的
- ハザードマップの大切さ
- Web 教材の活用法がイメージできた
- 地図が進化していることに驚いた
- 土地の成り立ちを知ることは大切だと思った。今後調べます。
- 地図の使い方や種類を詳しく知ることができた。今後の指導にいかせそうな話が多くて良かった。
- 地形図で等高線を (模型を使って) 立体的に理解することがとてもわかりやすいアプローチでした。ぜひ自分の授業でも取り組みたいと思います
- 地図がどの様に作られているのか, どの様に自分たちが使っていけばよいのか, とてもよくわかりました。いろんな角度から地図について教わることができた。
- 今まで活用できていなかったこと (国土地理院 HP) や, 楽しい工夫 (等高線) を教えてもらった。
- 講師の先生方の実直さや誠実さが伝わり自分もそんな風子供たちに接したいと改めて思うことができました。
- 地図には必要に応じて様々な地図があることにまず驚いた。その情報をきちんと知ることによって安全安心な暮らしにつながると思いました。
- 国土地理院のサイトの利用法は持ち帰り家でも再度確認ができるので良かった。
- 最前線で地図に係わっている方のお話は興味深く, また技術教育の専門家の工夫を凝らした話も素晴らしい。富士山が円錐ではなく方角によって大きく傾斜が違うところに驚いた。
- 等高線の実習は安く簡単でわかりやすいものだった。私たちの生徒の理解を深めさせる支援, 教材開発に力を注がないといけないと感じた。
- 防災を自身の問題としてとらえやすくするには, より身近でイメージしやすくすることが重要だと思った。最新の技術は積極的に取り入れて行きたい。

6. 内容で改善すべきこと

- パソコンを使った実習のスピードが速かった
- パソコンで戸惑った時の対応 (もう少し配慮して欲しい)
- パソコンを使うので目を休める時間を取って欲しい
- パソコン操作 (ルールに乗せようとせず, 学びの形について再考が必要)
- 授業計画をされていたのか
- タイムマネジメント (厳格にするなら終了時刻も厳格に)
- 時間の活用 (少し詰め込みすぎ, 頭がついていきませんでした)
- 国土地理院の地図システムがあまりにも内容が豊かであり, どこかに焦点を絞った方が良かった。

- 地図を作る具体なもの欲しい（パソコンではなく）
- 防災マップ作りは具体的に作ってみたい
- PowerPoint の追加部分が配布資料になかった
- ArcGIS, マンダラなどの GIS ソフトの使い方が学びたい
- 途中から質問されたことへの返答が入り、話が混乱した
- 事例について説明が早かった。理解ができるがもう少しゆっくと。
- 磁北（磁気偏角）の永年変化がわかりにくかった

以上.